
淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業 の事業評価について

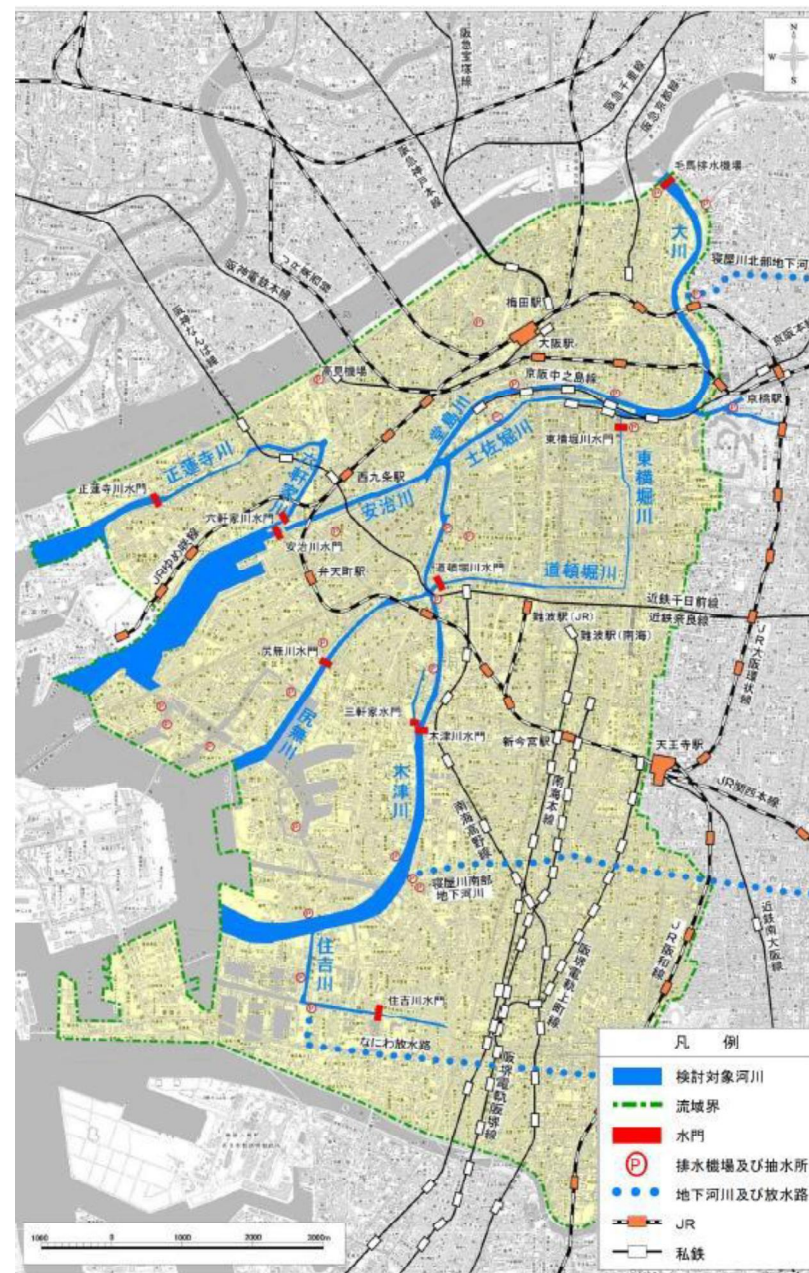
淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価に対する
主な意見と回答について（府民意見募集結果）

1. 事業概要

西大阪ブロックの概要

	河川名	指定区間延長 (km)	流域面積 (km ²)
西大阪 ブロック	旧淀川 (大川・堂島川・安治川)	13.83	288.0※ ¹
	土佐堀川	2.54	
	木津川	8.80	
	尻無川	4.10	
	東横堀川	2.175	
	道頓堀川	2.745	
	住吉川	3.05	10.8
	正蓮寺川	4.60	
	六軒家川	2.45	

※1 流域面積に寝屋川流域含む



1. 事業概要

年		高潮対策	地震対策・津波対策
S9	室戸台風		
S25	ジェーン台風		
S35		高潮対策事業に着手	
S36	第二室戸台風	防潮堤の整備等	
S45		三大水門完成 (現在まで11回閉鎖)	
S52			耐震対策事業に着手
S56		毛馬排水機場完成	
H7	阪神・淡路大震災		
H9	大阪府土木部地震防災アクションプログラム(H10.3)		
H23	東日本大震災		
H26	大阪府都市整備部地震防災アクションプログラム(H27.3)		水門・防潮堤等の耐震対策
H30	H30 台風21号 最大潮位OP+5.13mを観測 被害軽減効果 約17兆円		
R2	大阪府河川構造物等審議会 気候変動検討部会	気候変動を踏まえた 設計外力の設定	
R5		三大水門の更新	防潮堤の液状化対策完了
...			三大水門の更新
R23			

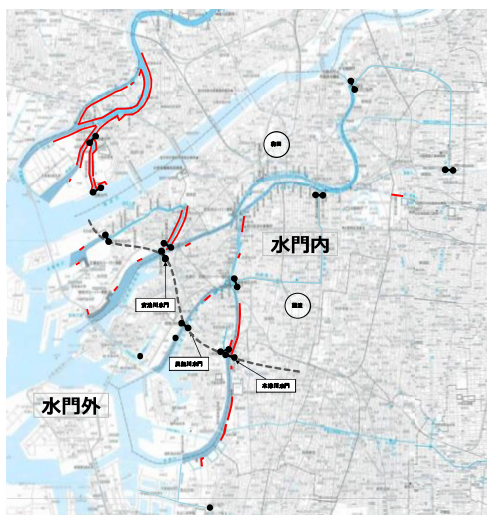
1. 事業概要

事業内容＜高潮対策＞

- 伊勢湾台風級の超大型台風が、大阪湾に最悪のコースで満潮時に来襲したときの高潮を想定した恒久的な防潮施設の整備が完了していることから、老朽化が進んでいる三大水門（安治川水門・尻無川水門・木津川水門）を新たな水門に更新することで、必要とされる安全性を維持する。

事業内容＜地震対策＞

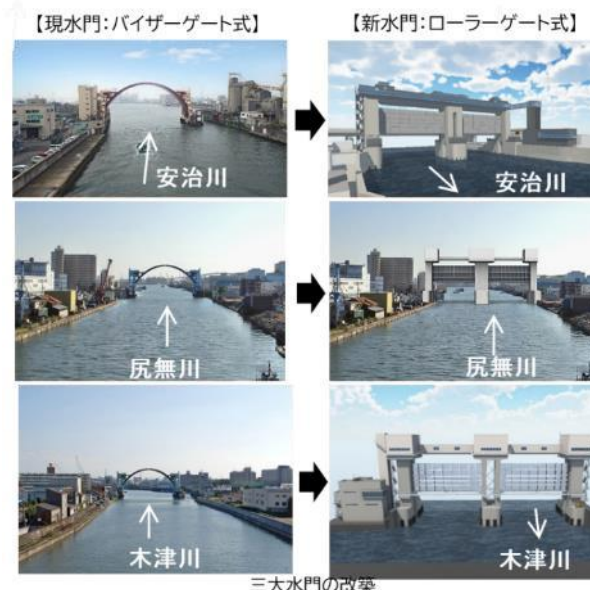
- 地震対策については、レベル1地震動（L1地震動）に対して堤防、水門、排水機場等の全ての河川管理施設が健全性を損なわず、レベル2地震動（L2地震動）に対して堤防については、地震後においても、レベル1津波（L1津波）高以上の高さを確保し、水門・排水機場については、開閉及び排水の機能を保持できるように整備が完了。



大阪市内における府管理河川の対策箇所

事業内容＜津波対策＞

- 津波対策については、河川管理施設の補強等により、レベル1津波（L1津波）を防ぐこと、レベル2津波（L2津波）に対しては、施設の損傷等による二次被害の発生を防ぐことを目標とし整備を実施。
- 老朽化が進んでいる三大水門について、高潮に加えて津波にも対応できる新たな水門に更新し、必要とされる安全性を維持する。



2. 図書の縦覧

➤ 意見募集期間: 令和6年7月3日(水)から令和6年8月1日(木)まで

縦覧図書

- 第1回 河川整備審議会資料(R6.6.25)
 - ・淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の再々評価調書
 - ・淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価について

縦覧場所

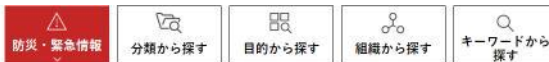
- 以下の18箇所
 - ・大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
 - ・大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)
 - ・大阪府西大阪治水事務所
 - ・大阪市 建設局 道路河川部 河川課
 - ・大阪市 北区役所 政策推進課
 - ・大阪市 都島区役所 総務課
 - ・大阪市 福島区役所 企画総務課
 - ・大阪市 此花区役所 まちづくり推進課
 - ・大阪市 中央区役所 魅力推進課
 - ・大阪市 西区役所 総務課
 - ・大阪市 港区役所 総務課
 - ・大阪市 大正区役所 総務課
 - ・大阪市 天王寺区役所 企画総務課
 - ・大阪市 浪速区役所 総務課
 - ・大阪市 阿倍野区役所 総務課
 - ・大阪市 住之江区役所 総務課
 - ・大阪市 住吉区役所 政策推進課
 - ・大阪市 西成区役所 総務課



2. 図書の縦覧

【ホームページ掲載】

大阪府(河川室)



トップページ > 住まい・まちづくり > 河川 > 河川の計画 > 大阪府河川整備審議会 > 淀川水系西大阪ブロックの河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

印刷 更新日: 2024年7月8日 ページID: 85711

淀川水系西大阪ブロックの河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、淀川水系西大阪ブロックの河川整備の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

- 対象事業名
淀川水系西大阪ブロックの河川整備について

1. 募集対象項目

淀川水系西大阪ブロックの河川整備の事業評価について

- 淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の再々評価調査(ワード: 28KB)
- 淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の再々評価調査(PDF: 378KB)
- 淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価について(PPT: 18,841KB)
- 淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価について(PDF: 4,217KB)

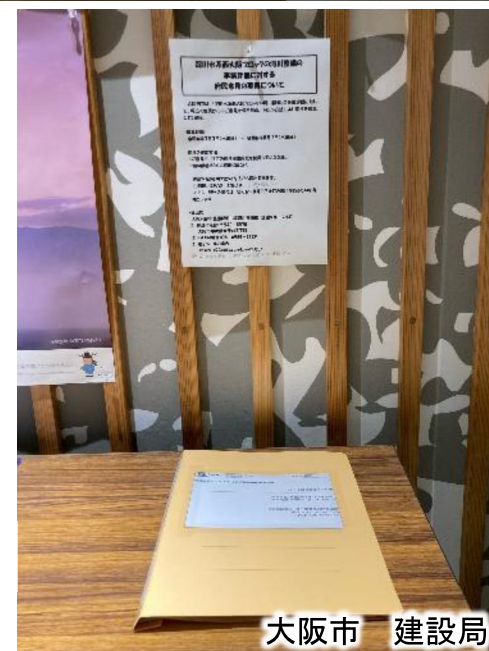
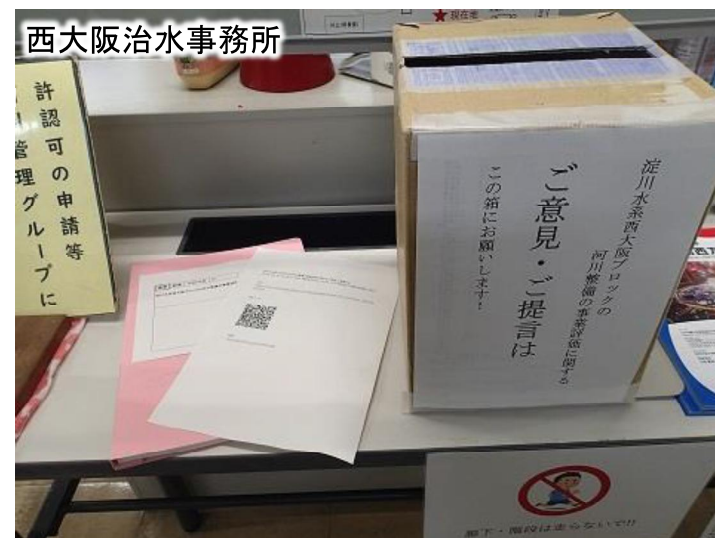
2. 募集期間

令和6年7月3日(水曜日)9時00分から令和6年8月1日(木曜日)24時00分 (※郵送の場合は消印有効)

3. 閲覧方法

- 大阪府都市整備部河川室のホームページに令和6年7月3日(木曜日)より掲載します。
- 以下の場所でも資料を備えています。
ただし、閲覧時間は、土曜・日曜・祝日を除く午前9時から午後5時15分まで。

【縦覧状況】



大阪市 建設局

2. 図書の縦覧

【大阪府公式X(旧Twitter)への掲載】

「大阪府公式 X(旧Twitter)」からの意見募集の広報



閲覧数	4616 回
リポスト	23 件
引用	2 件
いいね	91 件
意見	0 件

3. 意見募集結果

意見募集結果

いただいたご意見の総数は、10通

大阪府の河川整備事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

項 目	件 数
1. 高潮・地震・津波対策に関するもの	14 件
2. 河川環境	1 件
3. その他	1 件
【合 計】	16 件

※意見書に複数意見が書かれたものをそれぞれ1件として算定

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

ご意見 （14件） いただいた	①L1津波とL2津波と書かれていますが、違いは何ですか。専門用語だとは思いますがわかりません。市民に意見を募集するならわかりやすい説明をお願いします。
いただいたご意見に対する回答（案）	意見① ➤ レベル1津波（L1津波） ・数十年～百数十年の頻度で発生する恐れがある地震による津波です。 ・西大阪地域（大阪市内）では、昭和南海地震（解析値）（マグニチュード8.4）の規模を想定しています。 ➤ レベル2津波（L2津波） ・千年に一度あるいはそれよりさらに低い頻度で発生する恐れがある地震による最大クラスの津波です。 ・西大阪地域（大阪市内）では、南海トラフ巨大地震（解析値）（マグニチュード9.0～9.1）の規模を想定しています。 ➤ 以下、南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会をご参照ください。 https://www.pref.osaka.lg.jp/o020080/kikikanri/keikaku_higaisoutei/bukai.html

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

ご意見 いただいた (14件)	②大阪市に住むものとして、最近の大雨や今後の南海トラフ地震に対しての工事を進めていただき、被害が少なくなるように引き続きよろしくお願いします。また、早期の三大水門の完成を期待しております。
	③大阪の高潮や津波対策の中心となる事業だと思いますので、着実に進めていただきたい。
	④地震・津波対策をすることで浸水被害が半減されると記載されているので、引き続き対策を進めて頂きたいです。
	⑤安全なまちづくりに引き続き努めてください。
	⑥府民の生命財産を守れるように引き続き事業推進お願いします。
	⑦H30にも大阪に台風が来ましたが、これからは想定外の巨大な台風に見舞われると考えます。私の家も高潮浸水エリアのすぐ近くに位置していますので、引き続き対策いただくようお願いします。

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）

意見②～⑦

- 西大阪地域では、高潮や地震・津波に対して防潮堤、水門等のハード対策を進めています。特に、津波・高潮へのハード対策の根幹をなす三大水門の更新について、早期完成にむけ着実に事業を推進しています。
- しかしながら、計画を超える規模の津波・高潮により浸水被害が発生する可能性があることから、府民の適切な避難行動につながるよう、あわせてソフト対策も進めています。
- ソフト対策としては、高潮・津波ハザードマップなどの周知、啓発への取り組みや河川水位等の河川情報の提供を行っています。府民のみなさまには、これらの情報を活用し、自らの命を守るための迅速かつ安全な避難行動をとっていただくようお願いいたします。

（参考）

ハザードマップポータルサイト：<https://disaportal.gsi.go.jp/>

大阪府河川防災情報：<https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>

津波・高潮ステーション：<http://tsunami-osaka.jp/>

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

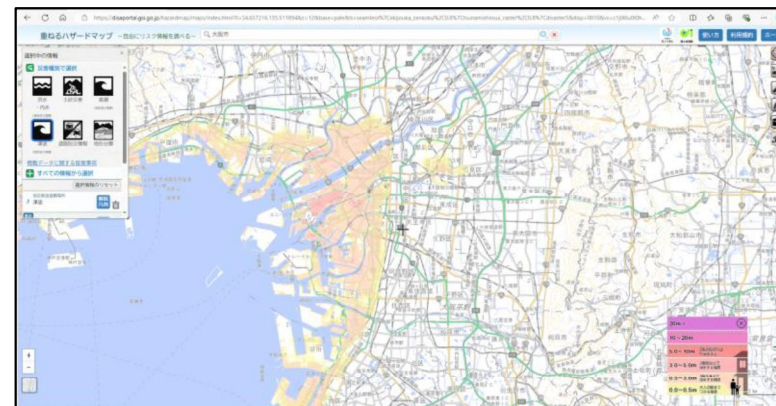
意見②～⑦

➤ ハザードマップポータルサイト

いただいたご意見に対する回答（案）



(1)



(2)



(1)災害リスクを自由に重ねての表示や(2)閲覧したい地域のハザードマップを検索すると公開されているホームページにアクセスが可能となっています。

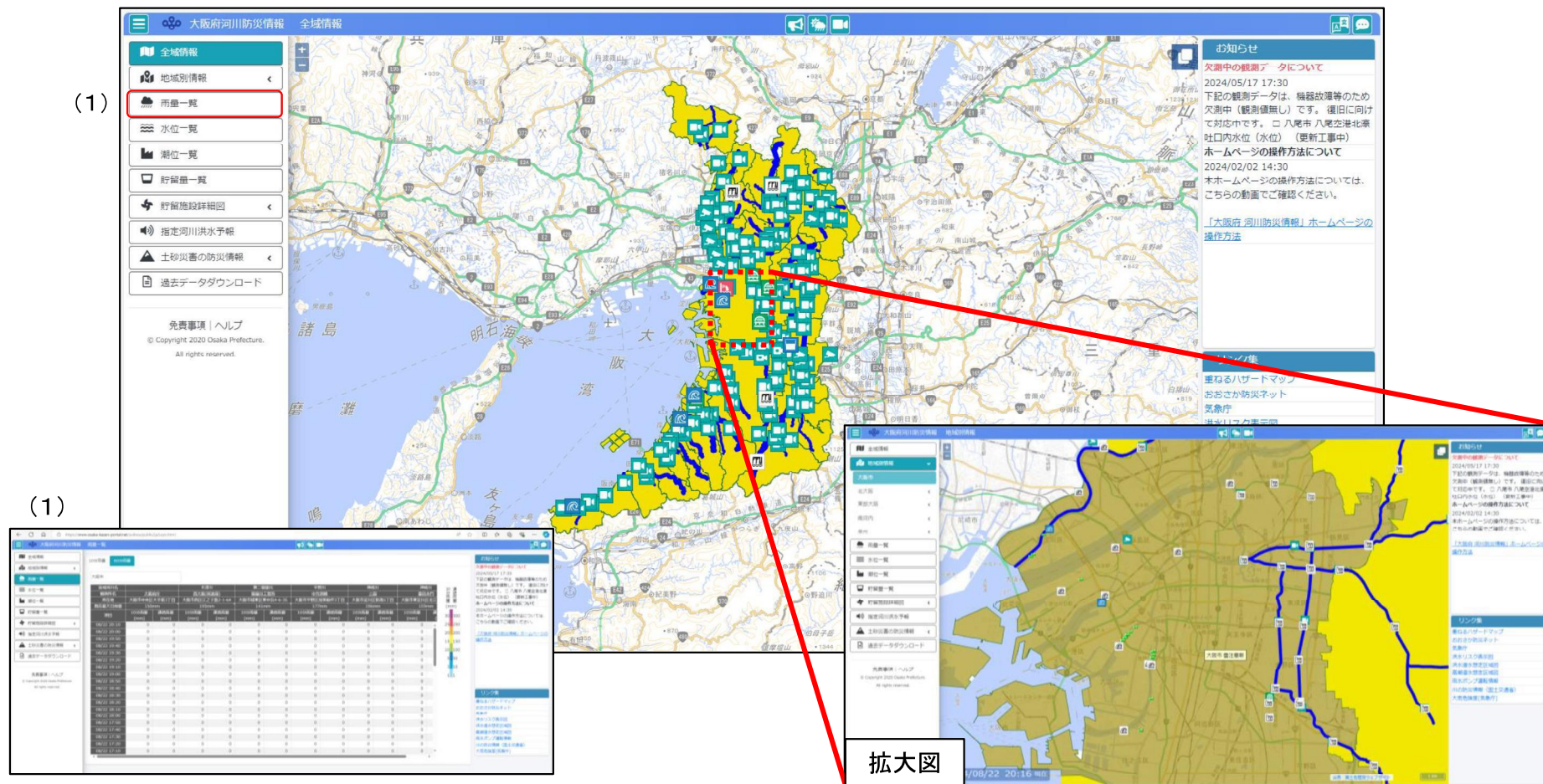
4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

意見②～⑦

➤ 大阪府河川防災情報

いただいたご意見に対する回答(案)



大阪府域全体の雨量、水位、潮位等の情報がリアルタイムで確認可能となっています。

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

意見②～⑦

➤ 津波・高潮ステーション

いただいたご意見に対する回答(案)



「津波・高潮ステーション」は、大阪府西大阪治水事務所が所管する防潮場や水門の津波・高潮防ぎょ施設の一元管理を行う「防災種」と、府民の防災意識の向上を目的とした「展示種」を併せ持つ施設です。

「展示種」はかつて大阪を襲った高潮や、近い将来必ず大阪を襲うと言われている東南海・南海地震と津波についての正しい知識を習得していただくとともに、地震、津波発生時の対応などを学べる、広く開かれた施設です。

“見て、聞いて、触って”楽しく学び、災害への備えの大切さを心に刻んでください。



津波・高潮ステーション
TSUNAMI
Storm Surge Disaster Prevention Station

津波・高潮ステーション

台風による高潮や地震による津波についての知識や地震、津波発生時の対応などが”見て、聞いて、触って”楽しく学べる施設となっています。

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

ご意見
(14件)
いただいた

⑧事業をすると浸水するところが半分になって5400haに減るとなっています。5400haについては事業をしないのですか。いつやっていたいただけるのですか。誰がやっていたいただけるのですか。

いただいたご意見に
対する回答(案)

意見⑧

- 西大阪地域の津波対策事業については、百数十年に一度の地震で発生する津波に対して、堤防の背後地が浸水しないよう河川施設のハード対策を実施しております。
- しかしながら、これらのハード対策が完了しても、現在から将来にわたって発生するであろう最大規模の津波に対しては約5,400haの浸水被害が発生する可能性があることから、府民のみなさまが自らの命を守るための適切な避難行動につながるよう、大阪府ではリスク周知や情報提供などのソフト対策を進めています。
- 具体的なソフト対策としては、津波ハザードマップなどの周知、啓発への取り組みや河川水位等の河川情報の提供を行っています。府民のみなさまには、これらの情報を活用し、自らの命を守るための迅速かつ安全な避難行動をとっていただくようお願いいたします。

(参考)

ハザードマップポータルサイト: <https://disaportal.gsi.go.jp/>

大阪府河川防災情報: <https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>

津波・高潮ステーション: <http://tsunami-osaka.jp/>

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

ご意見（14件） いただいた	⑨物価の高騰など、工事費が増えることもいたしかたないと思いますが、引き続きコスト縮減に努めていただきたい。
いただいたご意見に対する回答（案）	意見⑨ ➤ これまで、構造的な操作性、信頼性、施設の位置、航路への影響、経済性等を十分に比較検討した上で、トータルコストで優れている水門新設案を採用するなど、設計段階においてコスト縮減に努めました。 ➤ 施工段階においても、経済性及び施工性に優れた施工方法を採用するなど、引き続き可能な限りコスト縮減に努めます。

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

ご意見 いただいた (14件)	⑩現在、三大水門更新中ですが、完成時期を前倒しして欲しいです。 ⑪津波は「避難する」と行動を起すことは重要ですが、高潮などは最近の災害が甚大になっていること、3大水門の老朽化を踏まえ、早急な新水門の完成を期待する。						
いただいたご意見に 対する回答(案)	意見⑩～⑪ ➤ 三大水門更新事業は、現在の三大水門の機能を確保しつつ、その上流側に新水門を設置するものであり、耐用年数を迎えるまでに事業が完了できるよう取り組んでいます。引き続き、早期に事業が完了できるように努めます。 (現在の三大水門の耐用年数) <table><tr><td>木津川水門</td><td>7年</td></tr><tr><td>安治川水門</td><td>10年</td></tr><tr><td>尻無川水門</td><td>17年</td></tr></table>	木津川水門	7年	安治川水門	10年	尻無川水門	17年
木津川水門	7年						
安治川水門	10年						
尻無川水門	17年						

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

ご意見（14件） いただいた	⑫設備の老朽化には注意してほしいです。 堤防等の整備後の経過年数が長期に渡るものは注力してほしいです。
いただいたご意見に対する回答（案）	意見⑫ ➤ 機械・電気などの設備や堤防等の河川管理施設については、大阪府都市基盤施設長寿命化計画に基づき、点検、診断・評価を踏まえて、必要な機能を確保しながら計画的に補修・更新等の対策を行っています。 ➤ 府民の生命・財産を守れるように引き続き適切な維持管理に努めていきます。 大阪府都市基盤施設長寿命化計画： https://www.pref.osaka.lg.jp/o130020/jigyokanri/maintenance-plan/index.html

4. 意見に対する回答

1. 高潮・地震・津波対策に関するもの

ご意見 いただいた (14件)	⑬津波・高潮ステーションという施設を私は元々知らなかったもので、私と同様に知らなかったという人に知っていただけるよう、SNSなどを使用して周知してもらい、大阪府全体が防災意識の向上ができるよう情報発信して頂ければと思います。 ⑭ハード面だけではなく、ソフト面での防災の観点から「津波・高潮ステーション」や各防災センター等の活用が重要と思われますが、今後どのように住民等に利用促進するのか
いただいたご意見に 対する回答(案)	意見⑬～⑭ ➤ 津波・高潮ステーションは平成21年に開館し、これまで約38万人が来館しております。 (R4来館者数: 15,570人、R5来館者数: 19,450人) ➤ これまで、ホームページ等による情報発信やテレビやラジオの防災啓発番組での紹介、地域で行われる防災訓練等での展示などにより、認知度向上に取り組んでいます。 ➤ また、防災教育の場として活用していただけるよう、教育庁と連携し、毎年、リーフレット及び啓発ポスターを府内の全小中学校に配布しています。 ➤ さらに、府内外の防災啓発施設(あべのタスカル、人とみらい防災センター(兵庫県)、穂むらの火の館(和歌山県)など)とチラシを相互に配架することにより、広い範囲で情報発信に努めています。 ➤ しかしながら、ご意見のとおりまだまだ周知ができていない部分もあるため、今後はSNSなど多様な媒体で周知やイベントなどを開催し、府民の防災意識の向上につながるよう努めていきます。 津波・高潮ステーション: http://tsunami-osaka.jp/

4. 意見に対する回答

2. 河川環境

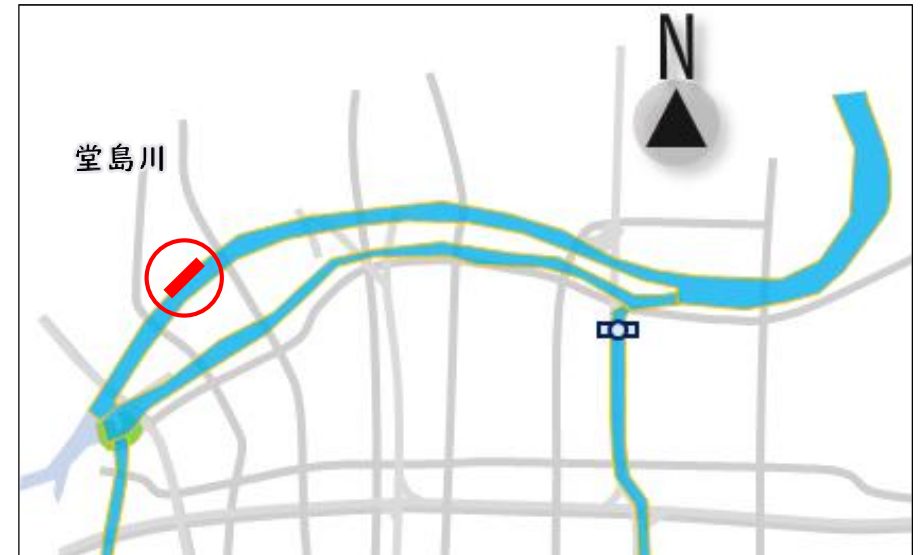
ご意見 いただいた (1件)	①景観について ・中之島周辺にツタ類の植栽で護岸を覆っていましたが、現在はあまり奇麗ではないです。 ・中之島石張り護岸がところどころ陥没しており見栄えが悪いです。 ・コンクリート防潮堤を都市と調和する景観として頂きたい。
対 する 回 答 (案) いた だ い た ご 意 見 に	意見① ➤ 中之島周辺については、周辺の土地利用状況にあわせた遊歩道など河川空間を利活用した整備により景観形成に寄与しています。 ➤ 引き続き、後背地と調和した河川空間の保持に努めていきます。

4. 意見に対する回答

ツタ類の生育状況が比較的良好な護岸の例

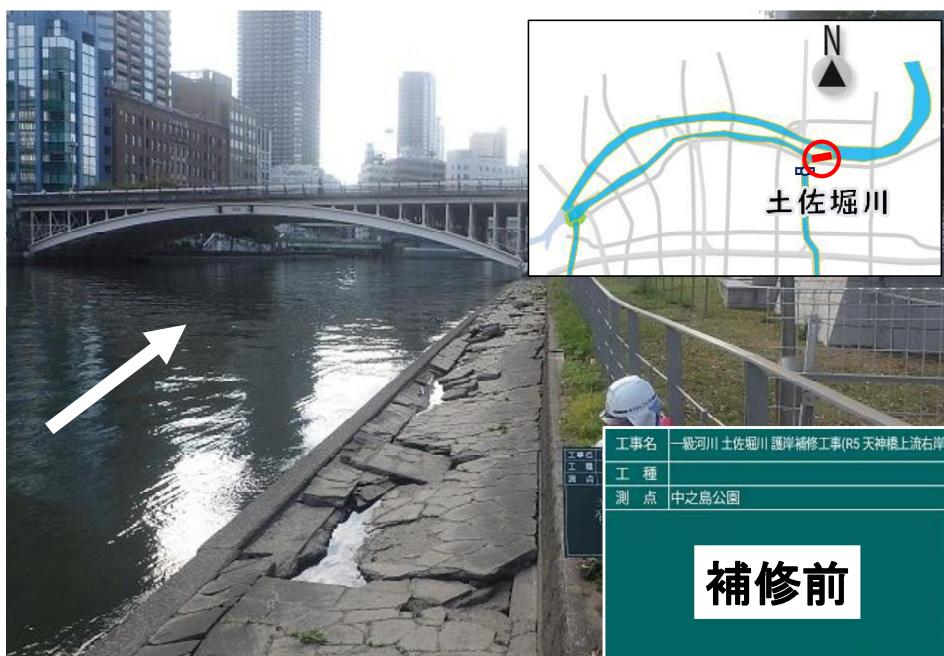
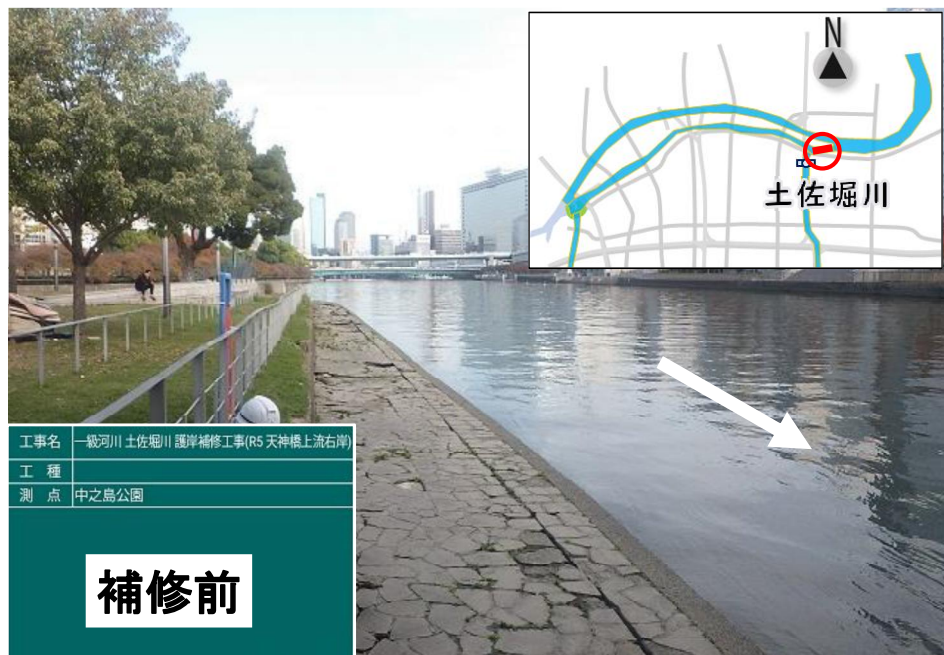


ツタ類の生育状況が良くない護岸の例



➤ 日照時間等により生育状況が異なっていると考えられる。

4. 意見に対する回答



4. 意見に対する回答

3. その他

・縦覧図書【淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価について】に誤字に対する指摘がありました。一部誤りがありました。ここに謹んでお詫び申し上げますと共に、以下のように訂正いたします。

	訂正前	訂正後
ページ	3ページ	3ページ
訂正箇所	正連寺川	正蓮寺川

5. 府民意見募集結果を踏まえた対応方針（案）

対応方針（案）

事業の必要性等

- 西大阪ブロックは、低平地に人口が集中し、地下街や地下鉄網等も発達し、さらに水道・ガス・電気などのライフラインが密集しており、一旦大規模な高潮や津波による水害が発生すると都市機能が麻痺し、人命や資産に甚大な被害が生じるため、ハード整備対策が必要不可欠である。また、気候変動の影響により、平均海面水位の上昇、強度が増す台風に伴う潮位偏差の増大、波浪の増大などが予測されている。これらを踏まえると高潮対策、津波対策である三大水門の更新、水防作業の省力化に繋がる防潮鉄扉の電動化等によるハード整備を継続することが必要である。
加えて、人的操作が必要となる防潮鉄扉や水門等について、日頃から施設操作の重要性の啓発や防潮鉄扉の開閉状況や水門における内外潮位をインターネットで公開するなど府民が的確に避難行動を取れるよう情報提供を行い、府民の安全・安心の確保に引き続き努める。
- 現時点で再度、西大阪ブロックの高潮事業の費用対効果を算出したところ、**B/Cは9.74**であり、河川整備の経済的便益性も確認できる。また、府民意見募集の結果、事業の進捗を望まれている声もあることから、本事業の必要性に変わりはない。

事業の進捗の見込み

- 整備の完了予定年が三大水門の更新期限であるR23年であり、時限的な制約がある中、現状予定どおり進んでいる。防潮堤耐震補強についてはR5年度に完了した。
また、淀川水系西大阪ブロック河川整備計画(R2.3)及び、大阪府都市整備中期計画(R3.3)に位置付けて事業を進めており、R5年度末で、**事業の進捗は72%**程度である。引き続き、三大水門更新等を推進していく。

事業を継続

令和6年度第2回大阪府河川整備審議会【資料1-2】の修正について

・令和6年度第2回大阪府河川整備審議会【資料1-2 淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	11ページ	11ページ
修正箇所	4. 意見に対する回答 1. 高潮・地震・津波対策に関するもの いただいた意見に対する回答（案） 意見②～⑦ - 西大阪地域では、高潮や地震・津波に対して防潮堤、水門等のハード対策を進めています。特に、津波・高潮へのハード対策の根幹をなす三大水門の更新について、早期完成にむけ着実に事業を推進しています。 - しかしながら、計画を超える規模の津波・高潮により浸水被害が発生する可能性があることから、府民の適切な避難行動につながるよう、あわせてソフト対策も進めています。 - ソフト対策として、高潮・津波ハザードマップなどの周知、啓発への取り組みや河川水位等の河川情報の提供を行っています。 （参考） ハザードマップポータルサイト：https://disaportal.gsi.go.jp/ 大阪府河川防災情報：https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 津波・高潮ステーション：http://tsunami-osaka.jp/	4. 意見に対する回答 1. 高潮・地震・津波対策に関するもの いただいた意見に対する回答（案） 意見②～⑦ - 西大阪地域では、高潮や地震・津波に対して防潮堤、水門等のハード対策を進めています。特に、津波・高潮へのハード対策の根幹をなす三大水門の更新について、早期完成にむけ着実に事業を推進しています。 - しかしながら、計画を超える規模の津波・高潮により浸水被害が発生する可能性があることから、府民の適切な避難行動につながるよう、あわせてソフト対策も進めています。 - ソフト対策としては、高潮・津波ハザードマップなどの周知、啓発への取り組みや河川水位等の河川情報の提供を行っています。府民のみならず、これらの情報を活用し、自らの命を守るための迅速かつ安全な避難行動をとっていただくようお願いいたします。 （参考） ハザードマップポータルサイト：https://disaportal.gsi.go.jp/ 大阪府河川防災情報：https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 津波・高潮ステーション：http://tsunami-osaka.jp/

令和6年度第2回大阪府河川整備審議会【資料1-2】の修正について

・令和6年度第2回大阪府河川整備審議会【資料1-2 淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	15ページ	15ページ
修正箇所	4. 意見に対する回答 1. 高潮・地震・津波対策に関するもの ⑧事業をすると浸水するところが半分になって5400haに減となっています。5400haについては事業をしないのですか。いつやっていただけるのですか。誰がやっていただけるのですか。 意見⑧ - 約5,400haの浸水については、防潮堤、水門等のハード対策が完了しても千年に一度あるいはそれよりさらに低い頻度で発生する恐れがある地震による最大クラスの津波により浸水被害が発生する可能性がある範囲です。そのため、府民の適切な避難行動につながるよう、ソフト対策を進めています。 - ソフト対策として、津波ハザードマップなどの周知、啓発への取り組みや河川水位等の河川情報の提供を行っています。 (参考) ハザードマップポータルサイト: https://disaportal.gsi.go.jp/ 大阪府河川防災情報: https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 津波・高潮ステーション: http://tsunami-osaka.jp/	4. 意見に対する回答 1. 高潮・地震・津波対策に関するもの ⑧事業をすると浸水するところが半分になって5400haに減となっています。5400haについては事業をしないのですか。いつやっていただけるのですか。誰がやっていただけるのですか。 意見⑧ - 西大阪地域の津波対策事業については、百数十年に一度の地震で発生する津波に対して、堤防の背後地が浸水しないよう河川施設のハード対策を実施しております。 - しかしながら、これらのハード対策が完了しても、現在から将来にわたって発生するであろう最大規模の津波に対しては約5,400haの浸水被害が発生する可能性があることから、府民のみならず、自らの命を守るための適切な避難行動につながるよう、大阪府ではリスク周知や情報提供などのソフト対策を進めています。 - 具体的なソフト対策としては、津波ハザードマップなどの周知、啓発への取り組みや河川水位等の河川情報の提供を行っています。府民のみならずには、これらの情報を活用し、自らの命を守るための迅速かつ安全な避難行動をとっていただくようお願いいたします。 (参考) ハザードマップポータルサイト: https://disaportal.gsi.go.jp/ 大阪府河川防災情報: https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 津波・高潮ステーション: http://tsunami-osaka.jp/

令和6年度第2回大阪府河川整備審議会【資料1-2】の修正について

・令和6年度第2回大阪府河川整備審議会【資料1-2 淀川水系西大阪ブロック 高潮・地震・津波対策事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	24ページ	24ページ
修正箇所	➤現時点で再度、西大阪ブロックの高潮事業の費用対効果を算出したところ、B/Cは9.74であり、河川整備の経済的便益性も確認できる。また、府民意見募集の結果 からも 事業の進捗を望まれていることから、本事業の必要性に変わりはない。	➤現時点で再度、西大阪ブロックの高潮事業の費用対効果を算出したところ、B/Cは9.74であり、河川整備の経済的便益性も確認できる。また、府民意見募集の結果、事業の進捗を望まれている 声もある ことから、本事業の必要性に変わりはない。